

浚せつに側

面的応援を

対馬漁港

…田中水俣病特別対

策委員長の帯任談

水俣病にたたられた不知火海沿岸漁民の漁業転換の一つとして、約百隻が対馬方面の寒いか釣りに出漁しているが、この実情視察をかねて長崎県当局にあいさつのため同県を訪ねていた熊本県議会水俣病対策特別委員長田中典次氏はこのほど痛熊、つぎのよつに語った。

対馬海域には各県からいか釣り船が集まっているため、漁港のしゅんせつが問題になり、長崎県ではいま農林省に予算を要求している。熊本県も側面的に予算要求の応援を願いたいとのことだった。またいかの加工工場が不足し増設の声が高いので、この方面でも協力を求めるかもしれないとのことだった。具体的計画は十九日の対馬漁協

長会議で決まるもようだ。本県からの出漁を長崎県側が迷惑が

っているのではないかと心配していたが、そのような気持は感

じなかった。